

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	シュウエール新松戸 第2教室		
○保護者評価実施期間	令和7年5月20日		～ 令和7年6月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和7年5月20日		～ 令和7年5月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年6月25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	塾講師経験がある人や教員免許を持った人がいるので、手厚く学習を見れること。	個々にあった学習支援を行うために教材準備。	独自の学習道具の作成等を行なってできるたと思えるようにしていく。
2	多種多様な集団活動	子どもたちが興味を示しそうな制作・実験等を考えている。	体幹や感覚統合を織り交ぜやりたくなるような活動を模索し日常でもできるものを増やしていきたい。
3	専門職(言語聴覚士)がいる。	ボードゲームや教材を使って行って相手の話を聞く時間や相手がどのように思っているかを学べるようにしている。	集団活動に導入し子ども同士や職員に伝え方を増やしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	従業員の経験の未熟さ	放課後等デイサービスで働いた経験がない方が多いため、対応のできる職員が行なってしまう。	社内・社外研修に積極的に参加していただくことや小まめに気になることを話し合いしていき共有をしていく。
2	体を動かすためには部屋が狭い。	子どもたちも学年が上がり高学年が増えてきていること、また人数が多く机が個々の机になっているので場所がとられている。	体育館や公共の場を使い体を大きく付けるようにしていきたい。
3	支援時間が短い	高学年が増えてきて下校時間も遅くなってしまっているのので、集団活動や学習時間が短くなってきている。また、送迎で出ているため手薄な状態がある。	時間の見直しを行うと共に、学習の時間を減らすなどして活動に参加できる時間や自由時間の時間を増やしていきたい。